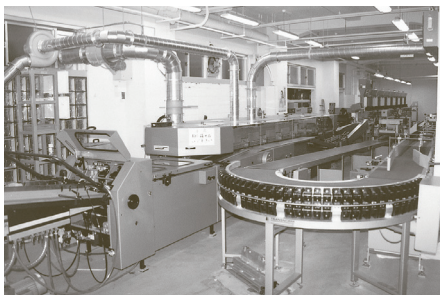
三晃印刷株式会社

未来へと受け継いでゆくもの。

Corporate history

	1920
昭和３年４月	山元正宜　小石川区戸崎町にて「山元鉛板所」創業
	1940-
昭和21年６月	「三晃印刷株式会社」設立
昭和28年４月	新宿区水道町に活版輪転工場を設置し輪転印刷に着手
昭和33年４月	双葉社「週刊大衆」創刊　当社で受注
	1960
昭和37年12月	水道町石切橋本社工場完成　創業の地、文京から新宿に完全移転
昭和42年７月	双葉社「週刊漫画アクション」創刊　当社で受注
昭和42年８月	本社石切橋工場にオフセット製版設備導入
	千葉県船橋市習志野にてオフセット印刷工場設置稼働
	活版整版とオフセット製版、活版印刷とオフセット印刷の両輪そろう
昭和44年10月	習志野工場にてオフセット輪転印刷着手
	1970
昭和45年５月	習志野工場増設工事完成　以後輪転設備拡充
昭和48年６月	中央公論社「中公文庫」創刊　当社で受注
昭和52年５月	小学館「コロコロコミック」創刊　当社で受注
昭和53年10月	スキャナ設備導入、オフセット製版拡充の為。色分解・製版作業の機械化進む
	1980
昭和57年11月	目白通り沿いに、地下１階地上８階のビル増築（新館完成）
昭和59年11月	樹脂版製版設備一式を導入　活版・鉛版からオフセットへの移行始まる
	印刷用版は、鉛版・樹脂版・オフセット用PS版の共存時期へ
昭和61年10月	電算写植導入　活版から電算写植への移行始まる
	活字は、鉛活字・手動写植・電算写植共存時期へ
	1990
平成２年７月	習志野工場敷地内に新工場増設（新館完成）
平成３年３月	鉛版設備廃棄　創業よりの鉛版業務60年余の歴史に幕
	印刷用版、鉛版から樹脂版・PS版に移行
平成６年６月	本社工場に製本設備導入、印刷から製本までの一貫体制確立
平成８年２月	本社に製版用Mac導入
	DTP業務開始　印刷用データのデジタル化推進
平成９年８月	小学館「月刊コロコロコミック９月号」発行部数200万部超える
	2000
平成12年６月	本社新館DTP設備・フロア拡張　CTP設備導入
平成13年12月	本社活版輪転機を習志野工場に移設、キーレスオフセット印刷機に改造
平成15年９月	樹脂版業務終了、活版輪転機廃棄
	活版輪転50年の歴史に幕　オフセット輪転に完全移行
平成16年９月	水道デジタル倉庫（子会社）発足　デジタルデータ保管活用業務開始
平成19年２月	習志野工場にCTP設備導入　刷版設備の自動化
	2010
平成25年１月	本社工場にて植木製本所（子会社）稼働
平成29年７月	本社を江東区新大橋に仮移転し、建替え工事に着手
平成29年８月	習志野工場に製本設備（無線綴製本ライン一式と折機３台）を新設稼働
令和元年７月	三晃ビル完成
	新社屋４階にて本社業務再開
令和3年３月	オンデマンド印刷機導入



昭和33年頃当時の社屋

次の100年を目指して

我か社は今年で創業95年を迎えます。
印刷業はDXと言われる時代に入り斜陽産業と言われ久しいですが、9年前に掲げました、「80余年の印刷ノウハウを活かし社会に仕え、お客様に仕えるサーバント型情報処理加工企業でありたい」という企業ビジョンは陳腐化するところかその実現を増々迫られていると感じます。
弊社はこれまで出版のお客様を中心に育てて頂いて参りました。時代か激しく変化する現代においてなお、コンテンツをお預かりし、お客様、社会が望まれる形態でお届けし、次の100年もご愛顧頂ける企業を目指して参ります。

令和5年7月

三晃印刷株式会社 代表取締役社長　山 元 正 宜

三晃印刷、その先の100年へ。

印刷

雑誌・書籍をはじめとする多種多様な出版印刷にお応えするために、製版・印刷・製本までの一貫体制で高品質な生産ラインを確保。また、販促ツールやDMなどの商業印刷においても、迅速できめ細やかな対応とさまざまなご提案をワンストップでお応えしています。

出版企画

長きに渡り出版印刷に携わってきた経験と、出版社様をはじめ編集プロダクション様との強固な関係性を活かし、新たな書籍や雑誌の企画と出版サポート事業を展開しています。多彩なテーマとアイディアで出版社様の商品開発をサポートしています。

電子書籍

印刷物で制作した大切な出版データを、各デバイスに最適化し、ユーザビリティを高めたコンテンツとしてリユースする電子書籍。進化する書籍のデジタル化へいち早く対応し、出版・書籍から企業様の製品カタログ等まで、幅広いニーズに対応しています。

COCOAR2でかざすと
動画が再生されます。

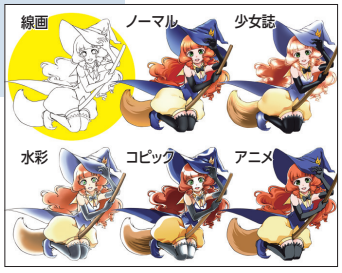
お客様をワクワクさせる ──。
私たちはこの旗印のもと、
日々研鑽していきます。

どの時代にも最良の印刷物とサービスを提供し続けたいと願う企業姿勢、そして、如何なる社会変化をも克服するチャレンジ精神を携え、私たち三晃印刷は歩んできました。一世紀に及ぼうとする歳月を経て私たちが築きあげてきたのは、多様なリソースと先進技術であり、お客様との信頼にもとづくパートナーシップです。

創業90年のターニングポイントを迎えて、私たちが目指すのは、仕事を通じてお客様を「ワクワクさせる」という想い。いうまでもなく、この合言葉はお客様へ提供する商品価値の向上へダイレクトにつながり、そしてまた、私たちの成長と進化の加速につながる原動力となります。日々の活動の中で切磋琢磨を積み重ね、最良を極めていく。一世紀を超える歴史を刻むその日に向かって、私たち一人ひとりの努力は続いていきます。

スキャニング

高品質な印刷を支えるために不可欠なスキャニング。その精度と技術力を常に追求するとともに、大型の印刷フィルムや図面などのスキャン、古い書籍を綺麗な状態でデータ化することによるオフィスの省スペース化など、さまざまなご要望にも対応しています。



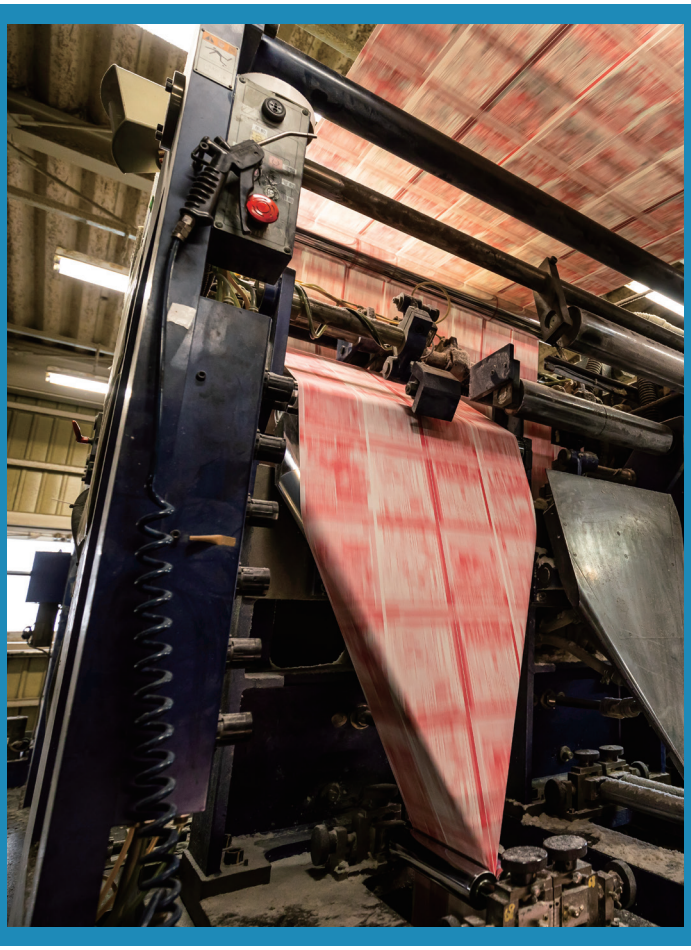
カラーリング

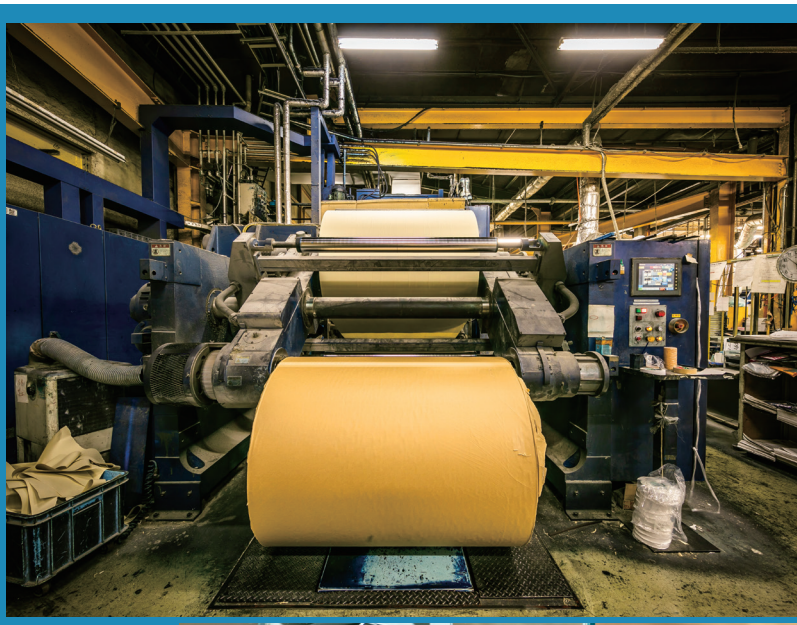
印刷だけでなく、電子コミックや海外展開でのカラー化のニーズにお応えするため、モノクロ漫画をフルカラー漫画に仕上げる業務をおこなっています。豊富な経験と実績を積み重ね、作風に応じた最適なカラーリングをご提供しております。

COCOAR2®

印刷物の付加価値を高めるために、紙媒体では伝えきれない情報を、画像や動画で表現できるAR（拡張現実）技術を活用したご提案なども積極的に展開しています。プロモーションツールの新たな可能性を広げる付加価値の高いコンテンツとして活用いただいています。

※COCOAR2®はスターティアラボ株式会社の商標登録商品です





ウェブサイト制作

出版・書籍のランディングページから、業務知識やサービス内容の理解が必須となるコーポレートサイトまで、幅広いニーズにお応えしています。社内に専門セクションを設置し、デザインのトレンドやSEO対策など、さまざまなウェブ戦略をサポートしています。

デザイン制作

お客様の印刷ニーズに幅広くお応えするために、制作から印刷までのワンストップ体制を推進しています。書籍・雑誌のデザインや各種パンフレット、DM・チラシ等のプロモーションツールまで幅広く対応。総合的なご提案でお客様をサポートします。

マンガ制作

各企業様が抱えるさまざまな課題の解決策として、マンガを活用したコミュニケーションツールをご提案しています。分かりやすさとスピード感が高いマンガという表現で、採用の課題や各サービス・制度の説明ツール等の制作をご提案しています。

イラスト制作

制作業務強化の一環として、イラスト制作においても社内でサポートできる体制を整えています。また、多様な分野で活躍する外部クリエーターとも協力体制を築いていますので、お客様の目的や予算に応じてさまざまなイラスト表現をご提案することが可能です。

写真撮影

撮影業務は建築、食品、人物等の撮影対象や制作内容、デザイントーンに応じて、さまざまなノウハウが求められます。当社では、お客様とのコミュニケーションを重ね、各分野のカメラマンネットワークを活かし、ハイクオリティな写真撮影をアレンジいたします。

映像制作

デジタルコンテンツの業務領域を広げるために、主にウェブサイトの訴求力を高める映像制作にも対応しています。多彩な分野の映像制作スタッフと連携し、お客様が生み出す商品や携わる人の魅力を確かな映像品質でお届けしています。

会社名　三晃印刷株式会社

所在地
●本社
東京都新宿区水道町４－13　三晃ビル４Ｆ
TEL：03（3268）6211　FAX：03（3268）6041
●習志野工場
千葉県船橋市習志野４－10－５
TEL：047（474）1241　FAX：047（474）1245

ホームページ　●https://www.sanko-printing.co.jp/

代表者名　代表取締役社長　山元正宜

資本金　１億円

会社の目的　(1)印刷製品全般　(2)不動産の賃貸及び管理
(3)前各号に附帯する一切の業務

主要生産品目
●出版印刷部門
週刊誌、月刊誌、書籍等など
●商業印刷部門
カタログ、パンフレット、チラシ、ポスターなど

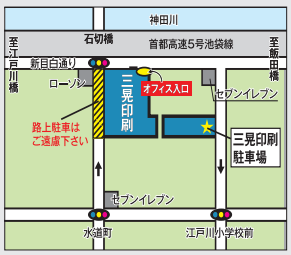
本社（2019年７月完成）

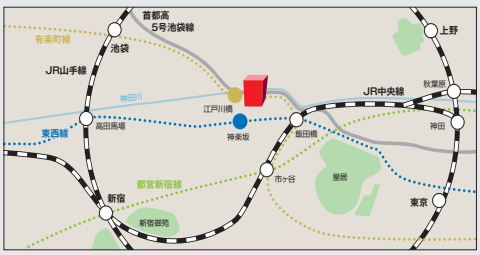
習志野工場

主要得意先
●出版社関係
㈱朝日新聞出版、㈱ウェッジホールディングス、㈱大月書店、㈱KADOKAWA、㈱河出書房新社、㈱キネマ旬報社、㈱芸文社、㈱コアミックス、㈱講談社、㈱光文社、㈱広報社、㈱集英社、㈱秋水社、㈱小学館、㈱小学館クリエイティブ、㈱小学館スクウェア、㈱少年画報社、㈱新潮社、CQ出版㈱、㈱スクウェア・エニックス、㈱淡交社、㈱筑摩書房、㈱中央公論新社、㈱徳間書店、都市出版㈱、㈱日本実業出版社、㈱ファンギルド、㈱藤子・F・不二雄プロ、㈱双葉社　ほか（五十音順）
●商業印刷関連
㈱朝日新聞社、アットホーム㈱、㈱アンプロモーション、一般社団法人 安中市観光機構、㈱エフエムディービー、㈱ケイ･ライターズクラブ、国立大学法人 東京大学、㈱商工組合中央金庫、㈱創建、㈱地域活性プランニング、ツールドインターナショナル㈱、㈱日本ケアサプライ、㈱ニューコムジャパン、ぴあ㈱、㈱Fanplus、㈱MARUWA SHOMEI、三井不動産リアルティ㈱、三井不動産レジデンシャルリース㈱　ほか（五十音順）
● 官庁関係
国税庁、各官庁、各区役所　ほか

取引金融機関名　商工中金／本店営業部　日本政策金融公庫／新宿支店
みずほ銀行／江戸川橋支店　三井住友銀行／飯田橋法人営業部

本社アクセス
■ 江戸川橋駅
（東京メトロ有楽町線）
４番出口より徒歩５分
■ 神楽坂駅
（東京メトロ東西線）
１番ｂ出口より徒歩７分





工場アクセス
■ 津田沼駅（JR東日本 総武線）
①京成バス「津田沼駅」北口４番バス乗り場にて、
［津01］系統 京成バス習志野出張所行きに乗車
②「ポニー製菓前」にて下車、徒歩５分
■ 北習志野駅（新京成線／東葉高速鉄道）
①新京成バス「北習志野駅」２番乗り場にて、
［習06］系統 習志野車庫行きに乗車
②「朋和産業本社」にて下車、徒歩５分

2023.4.20